

〒745-0034 周南市御幸通2丁目22  
 防長本社 Eメール bocho@chugoku-np.co.jp  
 中国新聞山口 Eメール chugoku@c-spice.co.jp  
 情報サービス U R L http://www.c-spice.co.jp  
 ☎0834(33)5605 FAX0834(33)5610

# ホット通信

マンション暮らしが長かった僕は、日本家屋に強くなることができていました。初めて今の家を訪ね、中庭で腰を下ろした時のことです。なにかしら懐かしく、まるで子どものころに連れ戻されたような気分になりました。十七歳までスリランカにいた僕に、そんな感情がわきおこるのは

## いしゃの やまぐち日記 ⑩

実に不思議な体験です。すくなく、借りのことを決めました。

新居が日本とは何かを教えてください。あると、その時はちっと思いませんでした。なにを隠そう、この家は不便なところがたくさんあります。トイレに行くには、いったん外に出ないといけません。老朽化した

教育・文化

# 異郷学ぶ絶好の教科書

あこがれの日本家屋暮らし

風呂は、水漏れがします。

があるようです。

夏は、確かにひんやりとして快適だが、冬は正直、効率が悪い。隙間が多いので全

体の暖めようとせず、こたつなどで部分的に暖をとるの

が賢明だと悟ったのは、二度、冬を越してからでした。でも、僕はこの家が大好き

です。日本の友人が遊びに来

て、庭を見ながら、なかなか腰を上げません。日本人も、この家に何かひかれるところ

目に見える友達にネズミが腰を上げません。日本人も、この家に何かひかれるところ

した時、酔っていたため、一階のソファで横にな

って見ながら、なかなか腰を上げません。日本人も、この家に何かひかれるところ

ウトウトしそうな瞬間、目が覚めました。なんと、二階の屋根裏でネズミがすごい音をたてて走りだしたのではありませ

るか。

しばらくたっても静まる気配がないので、少し腹立

たしくなって二階に駆けつける

と、とんでもない状況が目に入りま

した。帰宅してす

た



イラスト・石井彩子

く二階に行き、ベッドの横の電気スタンドをつけたことをすっかり忘れていました。何かの拍子でスタンドが布団の上に倒れたのでしよう。過熱した布団から煙が出ていたのです。

幸い発見が早く、大事に至りませんでした。ネズミの「大行進」がなかったらと思うとぞっとしました。迫る危険をネズミが教えてくれたのです。同居の仲間に大きな義理ができました。

僕は毎朝、台所の水の最初の一杯を神棚にお供えています。翌朝には、いつもコップの水が減っています。この家にはいろんな神様がすんでいることが、あれ以来、よく理解できました。

最近、シックハウスが問題となっています。その点、木と紙と土だけでできているこの家は、シックハウスとは無縁です。たくさん動物がすめることが、そのことを証明する何よりのバロメーターです。むしろ、この家たしくなって二階に帰れないと、ホームシックになつて僕がいます。

(県立国際文化学部講師 J・A・T・D・にしゃん)